

社会学用 BibTex スタイルファイル kyotosoc

佐藤 慧

2019 年 12 月 24 日

# 目次

1	はじめに	1
2	使用環境	1
3	どのように改変したか	1
4	例	2
4.1	さらに例 . . . . .	2

## 1 はじめに

樋口耕一先生の **nissya.bst** と **nissya\_bib.sty**<sup>(1)</sup>を下敷きに、京都大学文学部社会学専修の卒論用 BibTeX スタイルファイル **kyotosoc.bst** と **kyoto-soc\_bib.sty** をつくりました。 **nissya\_bib** は社会学界限でおそらく唯一の BibTeX スタイルファイルとして大変有用ですが、環境の違いなどによってうまくいかないことがありますので、スタイルファイルのバージョンを増やすことも大事かと思い、配布することにしました。少しスクリプトを書き換えるだけで様々なフォーマットにできます。

## 2 使用環境

私は Tex 環境をデスクトップにはダウンロードせずに、Overleaf<sup>(2)</sup>を使いました。 OS は macOS Catalina 10.15.1 で、ブラウザは Google Chrome です。

## 3 どのように改変したか

それぞれの改変箇所については、ファイル本体の冒頭に直接書き込んでありますが、

1. チルダを半角スペースに置き換え
2. ￥マークを\に置き換え

この文字コード関係の改変が主なものです。結局のところ文字コードで引っ

---

<sup>(1)</sup> <http://koichi.nihon.to/psnl/latex0.html>

<sup>(2)</sup> <https://ja.overleaf.com>

かかる場合が多いと思われます。それ以外は京大のローカルルールに合わせた書式の改変ということになります。むしろ、tex ファイル本体のプリアンブルで制御する部分が多いです。sample.tex のプリアンブルをご参照ください。改変すべき箇所と、対応するファイルの関係は以下のようなようなものです。

- 余白：プリアンブルで
- 文字数と行数：プリアンブルで
- 本文中の文献参照と参考文献リスト：kyotosoc.bst で
  - ただし、パンクチュエーションは kyotosoc\_bib.sty の最後の箇所です
- 注：プリアンブルで

## 4 例

本文中での参照は、平山洋介 (2018) のような場合は\citet{当該本のラベル}、丸括弧内で参照する場合 (平山 2009: 50) は\citep[50]{当該本のラベル}とします。詳しくは前掲の樋口先生のサイトでお確かめください。

### 4.1 さらに例

- 持ち家の所有はライフチャンスを大きく左右する (Zavisca and Gerber 2016).
- H. M. Schwartz and L. Seabrooke (2009) によれば、政府の住宅政策の方針は国によって大きく異なる。

## 参考文献

- 平山洋介, 2009, 『住宅政策のどこが問題か：持家社会の次を展望する』光文社。  
———, 2018, 「富か, 無駄か」『日本建築学会計画系論文集』83(745): 483–92.
- Schwartz, H. M. and L. Seabrooke, 2009, “Varieties of residential capitalism in the international political economy: Old welfare states and the new politics of housing,” H. M. Schwartz and L. Seabrooke eds., *The politics of housing booms and busts*, Berlin: Springer, 1–27.
- Zavisca, J. R. and T. P. Gerber, 2016, “The Socioeconomic, Demographic, and Political Effects of Housing in Comparative Perspective,” *Annual Review of Sociology*, 42(1): 347–67.